

「欧州研究」プログラム (ESP) の特徴

○「欧州研究」プログラムでは、大学院総合文化研究科の既設4専攻（言語情報科学専攻、超域文化科学専攻、地域文化研究専攻、国際社会科学専攻）の修士課程との緊密な連絡の下に、修士課程の教育をおこないます。

○入試は既存専攻の入試によります。入学後、初年度の履修登録時に、履修希望者のプログラムへの登録をおこないます。

○修了者には「修士(欧州研究)」という新しい学位が授与される予定です。

○「欧州研究」プログラムは、最新の欧州研究の方法と正確な知識を身につけ、社会の多様な分野で活躍し、日欧の架け橋となる、高度な「市民的エリート」の養成(東京大学の「大学憲章」に謳われた教育目的)に積極的に貢献していきます。

○プログラムの基礎科目を中心として、現代欧州理解のための学際的基礎知識を習得します。

○ヨーロッパの中のドイツの位置づけについて、重点をおいた教育が行われます。

○このプログラムに参加している学生は、ドイツ・ヨーロッパ研究センターの奨学助成金に応募することができます。

主な科目

選択必修科目：
欧州政治論
欧州統合史
欧州公共秩序思想
現代ドイツ基層論

展開科目：
欧州地域平和システム論
歴史和解と過去の克服
地域統合と社会文化変容
欧州現代思想
グローバルガバナンスと欧州統合
欧州研究特別研究Ⅰ
欧州研究特別研究Ⅱ
欧州研究特別研究Ⅲ
欧州研究特別研究Ⅳ
欧州研究特別研究Ⅴ
欧州研究特別研究Ⅵ
欧州研究特別研究Ⅶ
欧州研究特別研究Ⅷ

ESPの指導教員システムについて

○大学院では学位取得まで一貫して研究指導をおこなう1名の指導教員を入学後決定しなければなりません。
○プログラムに所属する学生の指導教員になれるのはプログラムの授業担当教員のうち、専任教員のみです。特任教員を指導教員とすることはできません。
○指導教員の決定にあたっては、入学後の専攻ガイダンスなどを利用して、プログラム運営委員の教員と相談の上、慎重に判断してください。

修士課程 欧州研究プログラム



ESP

ESPプログラムの詳細については
下記を参照してください。

<http://www.desk.c.u-tokyo.ac.jp/j/esp.html>

〒153-8902
東京都目黒区駒場3-8-1

電話 03(5454)6112

FAX 03(5454)6112

欧州研究プログラム (ESP) の概要

プログラムの趣旨

修士課程「欧州研究プログラム」(European Studies Programme: ESP)は、EUを中心とした統合が進み、政治・経済・社会のあらゆる面で既存の秩序が変容しつつある現代欧州について、最新の研究方法と正確な知識、それに基づく洞察力を養い、日欧の架け橋として社会の様々な方面で活躍する「市民的エリート」を養成するプログラムです。

プログラムの運営組織

2005年4月に東京大学駒場キャンパスの大学院総合文化研究科・教養学部設置されたドイツ・ヨーロッパ研究センターが、駒場キャンパスにある豊富な研究と教育のための人材を中心として、本郷キャンパスの教員の支援もおおぎながら、この教育プログラムの調整にあたります。

学修の特色

このプログラムに所属する学生は、総合文化研究科の既存専攻(言語情報科学専攻、超域文化科学専攻、地域文化研究専攻、国際社会科学専攻)に所属しながら、プログラムの必修科目(「現代欧州研究の方法」、「スーパーヴァイズド・リーディング」)と選択必修科目を履修することによって、幅広い現代欧州研究の基礎をしっかりと身につけます。また展開科目や専攻提供科目、法学政治学研究科や経済学研究科などの他研究科科目を履修することによって、応用的な知識とより深い洞察力を獲得します。

総合文化研究科と既存専攻については、それぞれのウェブサイトの情報を参考にしてください。

<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>

履修方法

学生は、ESPプログラム科目から14単位、所属専攻科目から16単位を履修します。プログラム科目では、プログラムの全体を俯瞰する「現代欧州研究の方法」と欧州研究の基礎を身につける「スーパーヴァイズド・リーディングⅠ・Ⅱ」の計6単位を、全ての学生が履修します。さらに、欧州研究の基礎を講義で身につける選択必修科目から2科目以上、演習形式で研究を深める展開科目から2科目以上を履修します。

学生の所属

このプログラムを履修するためには、入学後、初年度の履修登録時に、プログラムへの登録を行います。プログラムへの登録をおこない、規定の科目を履修し、修士論文審査に合格すると「修士(欧州研究)」の学位が授与されます。なお、「人間の安全保障」プログラムに所属する学生は本プログラムに登録することはできません。

センターの奨学金

学生には授業のない期間にドイツを中心としてヨーロッパでの修士論文作成のための現地調査を行うことが奨励されます。渡航費や滞在費を支給するドイツ・ヨーロッパ研究センターの奨学助成金システムなどが利用できます。

運営委員会

本プログラムの学生は、大学院総合文化研究科の4つの専攻のいずれかに所属しつつ、そこを足場として「欧州研究」という新しい課題に取り組みます。専攻間のプログラムのコーディネートはESPプログラム運営委員会がおこないます。

「欧州研究」プログラム運営委員

森井裕一(運営委員長)

石田勇治・山脇直司・鍛冶哲郎・川中子義勝

卒業後の進路

本プログラムを終了した学生には、社会のさまざまな分野で日欧間の架け橋となる職業に就くことが期待されていますが、既存専攻の博士課程に進学し、研究者をめざす道も開かれています。

プログラム科目

共通基礎科目(必修)

現代欧州研究の方法

スーパーヴァイズド・リーディングⅠ・Ⅱ

選択必修

欧州統合史

欧州政治論

EU法

欧州公共秩序思想

現代ドイツ基層論

展開科目

グローバルガバナンスと欧州統合

欧州地域平和システム論

歴史和解と過去の克服

地域統合と社会文化変容

欧州現代思想

欧州研究特別研究Ⅰ

欧州研究特別研究Ⅱ

欧州研究特別研究Ⅲ

欧州研究特別研究Ⅳ

欧州研究特別研究Ⅴ

欧州研究特別研究Ⅵ

欧州研究特別研究Ⅶ

欧州研究特別研究Ⅷ

発展科目

欧州研究実験実習Ⅰ・Ⅱ

欧州研究実験実習Ⅲ・Ⅳ

専攻科目

修士論文

問い合わせ先：ドイツ・ヨーロッパ研究センター

〒153-8902

東京都目黒区駒場3-8-1

電話 03(5454)6112

FAX 03(5454)6112

Email: esp@desk.c.u-tokyo.ac.jp

